

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	公園管理事業	会計名称	一般会計		担当課	都市住宅課	
		予算科目	8 款 5 項 2 目	事業番号	3750	所属長名	三谷陽紀
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	小寺卓也	
法令根拠等	都市公園法、伊予市公園条例				実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 住みやすい都市空間づくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	住みやすい都市空間づくりに努める。						
事業の対象	都市公園及びその他公園の施設利用者			事業の目的	だれもが快適に住みやすい環境づくりを目指して、施設の整備及び維持管理を行なう。		
事業の内容 (整備内容)	都市公園及びその他公園の維持管理運営			昨年度の課題に対する具体的な改善策	遊具の点検を実施し、事故を未然に防ぐことができた。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1 年度予定	9月末の実績	1 年度実績
直接事業費	46,999	25,943	0	△ 1,795	0	22,919	光熱水費	千円	978	1539	542	1009
国庫支出金	18,000	3,186	0	0	0	2,500						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	9,600	3,100	0	0	0	2,600						
その他	1,395	1,382	0	0	0	1,183						
一般財源	18,004	18,275	0	△ 1,795	0	16,636	修繕費・工事請負費	千円	32652	8692	582	7111
職員の人工(にんく)数	0.70	0.70				0.80						
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992	委託料	千円	9790	10862	7219	10493
※ 直接事業費+人件費	52,586	31,537				29,313						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)				有料施設利用者数	人	11576	11850	8508	10563
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	5年間の合計		
					30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	150,000		
成果指標	指標	今年度の利用人数÷過去2年間平均利用人数			単位	区分年度	前 年度	1 年度	2 年度	目標 毎 年度		
	指標設定の考え方	快適に利用できる施設環境づくりを目指すためにも、施設の利用者数増が事業の評価と考えた。			⇒	目標	1.01	1.01	1.01	1.01		
	指標で表せない効果					実績	1.05	1.04				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		五色浜プールが改修工事によりリニューアルし、利用促進の広報活動が必要である。								
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	中予地区の各市町の関係部署 (保育園、幼稚園等) に出向き、チラシ配布などの広報活動を実施した。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	5					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	5					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3						
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3						
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	5						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 市所管の公園にかかる事業であり、施設利用者の利便性・快適性の維持に努める必要があるため。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4							
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3							
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	4							
評価	所属長の課題認識	施設の現状を把握に努め、適正な施設管理を行ない、利用者に快適な環境を提供しなければならない。								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 令和元年度の外部評価（行政評価委員会）での意見にあるとおり、指標の見直しにより分かりやすくなるよう工夫を検討すること。事業の目的か内容の欄に伊予地区にある中での8つの公園が対象であることが分かるよう記載をすること。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。		